

ミュージアムと地域社会 考察のためのヒアリング調査

～第5回21世紀ミュージアム・サミット実施に向けて～

報告書

財団法人 かながわ国際交流財団

ミュージアムと地域社会 考察のためのヒアリング調査

～第5回21世紀ミュージアム・サミット実施に向けて～



財団法人 かながわ国際交流財団

ミュージアムと地域社会 考察のためのヒアリング調査

～第5回21世紀ミュージアム・サミット実施に向けて～

目次

調査事業の概要	P 2
1. ミュージアムの役割と経営	P 9
1-1. 英国の文化政策から日本のミュージアムへの示唆 菅野 幸子（国際交流基金）	P 10
1-2. ミュージアムへの指定管理者導入の現状と課題 長崎歴史文化博物館の場合 竹内 有理（長崎歴史文化博物館）	P 30
2. 他の文化機関との連携 ～知識（情報）基盤としての文化施設～	P 47
2-1. 地域デジタルアーカイブと図書館・博物館 丸山 高弘（NPO法人地域資料デジタル化研究会／山中湖情報創造館）	P 48
2-2. 図書館という場 ～MLA連携から見えるもの～ 根本 彰（東京大学）	P 65
3. ミュージアムの社会的使命	P 75
3-1. ミュージアムの課題と今後 ～成熟した社会づくりのために～ 佐々木秀彦（東京都美術館）	P 76
3-2. ミュージアム・リテラシーの向上に向けて 小川 義和（国立科学博物館）	P 91
3-3. ミュージアムに関わるステークホルダー分析	P 111
3-3-1. ミュージアムのステークホルダー ～ステークホルダー概念とターゲットの細分化～ 平井 宏典（共栄大学）	P 112
3-3-2. ミュージアムにおけるステークホルダーの導出 奥本 素子（総合研究大学院大学）	P 115
4. 参考資料	P 121
4-1. 平成20年度社会教育調査（抜粋）	P 122
4-2. 21世紀ミュージアム・サミット概要	P 126